

クラス番号	912	担当教員名	大谷 京子
テーマ	精神保健福祉士を目指すための土台づくり		

ゼミナール概要

キーワード：

精神保健福祉、ソーシャルワーク、精神保健福祉士（PSW）、障害者

目的：

精神保健福祉士は、精神保健福祉領域で働くソーシャルワーカーです。社会福祉の専門職なので、人と社会についての幅広い知識、考える力、実際に動く力、他者と協働する柔軟性や協調性が必要です。この基礎演習は、それらの力を身につけていく第一歩です。

そこで、以下の5つをできるようになることを目的とします。自分の探究したいテーマについて、①情報を収集すること、②情報を整理して理解すること、③テーマに関連する問題点を自分で考えること、④自分の考えを口頭と文章で伝えること、⑤他者と協働することです。

内容、方法等：

当事者グループの訪問： 当事者グループ、家族会など、ソーシャルワーカーとして関わる方々から学びます。まずグループに分かれて、それぞれの関心のあるグループを取り上げ、事前学習をします。基本的な知識を得たうえで、実際に当事者グループを訪問します。当事者の方たちの語りや、一緒にした活動などから学んだことをグループでまとめて発表します。各グループの学びを、クラス全員で共有します。

多職種シンポジウム： コース全体で、多職種（ソーシャルワーカー・医師・看護師・作業療法士・臨床心理士など）シンポジウムを開催します。事前学習として、多職種の役割、ソーシャルワーカーの固有性、多職種協働のあり方を学びます。さらにシンポジウムを受けて、多職種連携のために必要なことを検討します。

フィールドワーク： グループに分かれて、関心のあるフィールド（社会問題の表れている現場）を見出します。事前学習→フィールドワーク→まとめと発表という流れで学びを深めます。

レポート作成： 年間2本のレポートを作成します。

授業計画：

前期は当事者グループの訪問、後期はグループ別フィールドワークを中心に授業を進めます。

事前学習→現場経験→事後学習という流れは、同じです。

グループでの学習が基礎になりますが、毎週一人ひとりが取り組むべき課題も出されます。

担当教員からのメッセージ



社会福祉専門職を目指し、そのための力をつけたいと思っておられる学生さんと一緒に学んでいきたいと思っています。

毎週、何らかの課題が出されますので、着実に学び続けることが求められます。

仲間と共に、成長するおもしろさを経験できるクラスにしたいと思っています。自由に考えを語り、聴き、学び合うゼミを目指します。